

香港

吉川雅之

…守れるか言語的
ユニティ



普天同庆回归 (世を挙げて共に祝う香港返還)

香港返還に合わせて摩天樓の側壁に現れた祝賀のネオン文字である。筆者にとって意外だったのは香港で通用している繁体字(旧字体)でなく中華人民共和国の正式字体である簡体字(簡略字)で描かれていたことで、中国系資本のビルは主にそうであった。ここに香港言語の今後の趨勢を垣間みることが出来る。

一 香港の言語状況

香港は本来移民・難民の都市であり、一九六〇年代以降中国各地からの移民流入によって面積に比して膨大な人口を抱えるようになった。今でも香港人の生活の中に入り込めば言語的マイノリティーに出会うことがある。漢語系諸語では官話・上海語・福州語・閩南語(福建語)・潮州語・海南語・客家語、漢語以外では英語・ネパール語・ヒンディー語・ベトナム語・タガログ語・タイ語・韓国語など。このような多彩さにもかかわらず現在の香港は「広東語」

(口語面)と「繁体字」(文字面)による統一が完了した状況にある。伝統的に「広東語・繁体字」で行われてきた学校教育に義務教育制が導入された(七六年に小学校六年間、中学校三年間)こと、七〇年代以降英語・広東語以外のメディアが非常に限られていたことが主な要因だが、インド人なども香港生まれの二世となると非常に流暢な広東語を話すようになることからみて、香港が一つの自己完結した社会としてまとまりを持つようになったことも要因として挙げねばならない。

二 言語に対する法的保証

英国の植民地としてスタートした香港の場合、公用語に「中文」(中国語)が認められたのは遅く、一九七四年立法



返還の時期に現れた
簡体字ネオン

評議会が制定した「一九七四年法定語文条例」(英文名「Official Languages Ordinance」)で英文と中文が法的に同等の効力を持つと規定されたものの、同条例では香港での成文法に対し英文での制定だけが明記されている。八七年になって同条例は、八九年四月七日以降通過の法令は英文と中文により制定され同等の効力を持つ、と修正された。そして一九八九年四月一日に初のバイリンガルでの法律制定が行われ、それ以降は全ての法令が英中文で制定されている。

返還後、香港特別行政区の憲法となる香港基本法には第九条に公用語が明記されている。「香港特別行政区の行政機関、立法機関、司法機関は中文のほか、英文も使用することができる。英文も公式用語である」。この記述に従えば公用語は「中文」で、「英文」は補助的地位に置かれているかのような印象を受けるが、法律を司る立場に在る司法官の数分の一は現在でも英語しか解さない欧米人であるし、たとえ香港人であっても英語の方が(とりわけ読解・筆記に関しては)堪能である。また一九九五年一月香港史上初の「中文」(広東語)による判決が行われたことは記憶に新しいものの、英語による判例を「中文」に翻訳する作業は

今年になってようやく始まったばかりである。結論から言うと香港が引き続き国際金融センターとして存続していくという大前提の下、上位言語である英語の地位低下は可能性小と見るべきだろう。香港の父兄が心配する英語の「水準」低下については教育署課程發展局でも、(1)英語を母語とする教師を各中学に一、二人置くことを義務付ける、(2)LL設備設置のため経済援助をする、(3)図書館に英語の書籍をより多く置くため経済援助をする、といった措置を講じると明言しているが、成果については今後を待たねばならない。

三 ホンコン・メディアの言語

ラジオは香港電台 (Radio Television Hong Kong) 、商業電台 (Commercial Radio) 、新城電台 (Metro Broadcast) の三局が競い合っているが、香港電台がかつての第七台 (AM、FM) を今年三月三十一日に「普通話台」としてリニューアル、香港初の二十四時間普通話による放送を行い始めた他は、基本的に広東語か英語の放送である。かつては一九四九年から有料ラジオ局「麗的呼聲」(Rediffusion in Hong Kong Ltd.) の金色中文台が潮州語・上海語など

の放送を行っていたが七九年三月に閉鎖して以来、英語・広東語以外の放送を行っているのはAMの香港電台第五台 (普通話と潮州語くらいである。世界中の中国系リスナーを繋ぐと自信を示した「普通話台」も番組の質が低いとの批判が多く、一般聴衆の支持を獲得するには至っていない。新聞は圧倒的に中文版が多く三十数種。英文版は「South China Morning Post」など数種。書かれたものだから中文版の使用言語は皆同じかといえそうではない。文体面から中文版は二種類に分けることができる。一つは「明報」「文匯報」に代表される全面が規範的書面語「中文」による記事の新聞。もう一つは「東方日報」「蘋果日報」に代表される社会面・国際面が規範的書面語「中文」をベースに「広東語」の口語語彙を散りばめた文体、娯楽面が口語「広東語」をそのまま文字化した文体の新聞。雑誌も同様の二種類に分かれる。

四 ステイタスのための英語

一八六六年香港政庁は英語を中央書院 (Central School) の必須科目に指定、英華学校 (Anglo-Chinese school) の補助を徐々に増加させた。これは単に香港に於ける英語

教育の制度化だけでなく「英語の素養」ステイタス」の図式の原点となった点でも重要な決定であった。「英語能力」ステイタス」の図式は現在、三歳から始まる幼稚園に英語が科目として設けられていることでその定着度をうかがうことが出来る。

英語のできる中国系市民が社会的評価の高い職業に就いてきた歴史的背景のため、社会全体に「実用としての語学」的色彩が強い。例えば大学では翻訳学科を設けていることが多く、科目にも「商業英語」などといったものが少なく

ない。また、大学によつては「英文学科」と称していても文学・文化といった虚学よりも翻訳・マネージングなどの実学を主にしているところがある。

五 香港の言語的均一性を脅かす不安定要素

現在香港は「広東語・繁体字」の言語的ユニティを脅かす不安定要素をはらもうとしている。口語面での「普通話」と文字面での「簡体字」である。前者は中国国内からの新移民がもたらし、特に福建省からの移民は「普通話」も解せないため、今年五月に登場した新移民職業案内ホットラインでは閩南語係が設けられた。後者は中国国内からの出版物や広告・マスメディアがもたらし、教育署では「教師・生徒が繁体字をきちんと覚えたことを前提に」簡体字の習得を促しそのための教材を用意し始めた。

教育署が九六年三月に頒布した「第六号報告書」では「中文」科と「普通話」科の将来的関係を数年後に再検討するとしているが、筆者の取材に対し教育署課程發展局側は「徐々に両科目を統合させていく方針だ」と述べた。具体的には八十年後をめどに「中文」科を現在の「広東語」による授業形式から「普通話」による授業形式に移行し始め



幼稚園の英語ワークブック

る、更に長期的には他の科目も「普通話」による授業形式に移行できればと思っているがその時の社会の「普通話」に対する成熟度を考慮し強制はしない、という構想である。仮に「中文」科の「普通話」化が現実となれば香港の言語構造に大きな打撃を与えるだろう。というのは「普通話」発音で書記英語「中文」を読むことが定着すれば現在のように文章を広東発音で読む習慣が若い世代から徐々に風化していくと予想されるからである。それは「香港広東語」が書記言語・口語の両面を有している状態の終焉、口語でのみ存在する言語への変質を意味する。当然、現在まで書記言語「中文」を広東発音で朗読・享受してきた香港人の書く文章の文体にも変化をもたらすに違いない。

【注】香港広東語の構造、教育現場の言語に関しては、以下の拙文を御覧いただきたい。

「中文」「と「広東話」——「香港言語生活」への試論(一) (月刊しにか) 一九九七年七月号)

「母語教育」の下の「普通話」——「香港言語生活」への試論(二) (月刊しにか) 一九九八年八月号)

(本文は筆者が文部省アジア諸国等派遣留学生の身分で香港中文大学中文系に留学中に執筆したものである。「香港言語生活」への試論(三)としてお読みいただければ幸いである)

(よしかわまさゆき／香港言語問題・中国語方言学)

吉川雅之1997c

『言語』次号(11月号)予告 [10月15日発売]

*特集・新約聖書とは何か

——福音書とイエスをめぐるミステリー——

福音書からイエスへ……………田川建三

「トマス福音書」と禅……………佐藤 研

福音書はなぜ書かれたのか……………加藤 隆

パウロと福音書の関係……………青野太潮

「新約聖書」新訳の意義とその特徴……………荒井 献

新約聖書研究の方法……………小 河 陽

イエスの言葉のレトリック……………久 米 博

死海写本とは?……………土岐健治

* *

巻頭エッセイ……………長谷川宏・池田浩士・岩井憲幸

国語学と認知言語学の対話I……………坪井栄治郎／尾上圭介

メタファーの心理言語学的アプローチ……………光延明洋

知覚と言語の共働……………長滝祥司

インタヴュー▼言語学フロンティア③⑤(言語人類学)……………井上京子

* *

連載■空の歳時記(十一月)……………水沢 周

連載■池田清彦の虫の目 人の目①……………池田清彦

連載■日本語の構造①……………長谷川信子

連載■漢字の履歴書①……………川嶋秀之

リレー連載■言語ジャーナル③⑤アメリカ合衆国……………本名信行

リレー連載■読書記⑤⑨……………桑子敏雄

リレー連載■近世のことわざ探訪①……………長島弘明

口絵■世界の言語③⑤アルメニア語……………北川誠一